

2020年度事業計画

自2020年4月 1日
至2021年3月31日

公益財団法人久留米文化振興会

I. 事業活動方針

当財団が管理・運営する石橋文化センターは株式会社ブリヂストンの創業者であり、久留米市名誉市民である石橋正二郎が「世の人々の楽しみと幸福の為に」と地域の発展を願い、1956年に建設、久留米市に寄贈した複合文化施設です。

今年度も「世の人々の楽しみと幸福の為に」の理念に基づき、様々な活動を展開し発展させていくことを基本とします。

活動方針としては、久留米市美術館開館を機に重点的に取り組んでいる「石橋文化センターをひとつのミュージアムと捉えた活動」（ミュージアム化）をさらに強化し、展覧会とホールや園内事業を連携することにより、相互の魅力向上を図り市民が多様な芸術文化に気軽に触れる機会を創出していきます。

特に美術館は、美術館運営移行による組織統合から5年目を迎え、第1期指定管理期間の最終年度となります。これまで同様、久留米市の「新たな美術館の基本方針」に基づき、「とき・ひと・美をむすぶ美術館」のビジョンのもと、市民に親しまれる美術館を目指し、指定管理者としてしっかりと管理運営を行っていきます。

主な取組みとして、2021年度から始まる久留米市美術館第2期指定管理に向け、事業計画書の提出など具体的な準備を進めるとともに、昨年度から策定作業に入った財団基本計画を作成します。

また、広域から幅広い世代の皆様には石橋文化センターを安心してご利用いただけるよう、久留米市の協力のもと自然災害に備えた浸水防止等の安全対策を講じてまいります。

今年度も、石橋文化センターが、より多くの人々に「楽しみと幸福の時間。」を感じていただけるよう、魅力づくりに取り組んでいきます。

Ⅱ. 重点的な取組み

1. 美術館の基本方針に基づく事業推進

(1) 郷土の歴史をふまえた特徴あるコレクション形成

久留米市の収集方針に基づく作品収集のため、候補作品を久留米市に提案し、特徴あるコレクション形成に寄与する。

(2) 魅力ある展覧会や教育普及活動の展開

2020年度は、所蔵作品を紹介するコレクション展を1本、他館と共同で企画し、全国を巡回する展覧会を4本開催する。

内容は、九州ゆかりの近代洋画家の作品が中心となるコレクション展をはじめとして、小林萬吾、鴨居玲、高島野十郎と、明治以降に活躍した洋画家に注目した展覧会が続き、2020年度の展覧会は、特に日本近代洋画が充実したラインナップとなる。

また、美術館の1階で開催する「ルート・ブリュック 蝶の軌跡」は、当館で初めて海外の陶芸作品を取り上げた展覧会となる。

(コレクション展)

「久留米市美術館のコレクションing 絵かきになりたい！」

(共同企画・巡回展)

「白馬のゆくえ」、「没後35年 鴨居玲展」、「生誕130年記念 高島野十郎展」

(美術館1階の企画展)

「ルート・ブリュック 蝶の軌跡」

以上の展覧会のほか、教育普及活動として、以下の事業を予定。

- ・各展覧会に関連した講座やワークショップ等の実施
- ・久留米市立中学校1年生を中心とした学生等の美術館鑑賞

(3) 石橋文化センターをひとつのミュージアムと捉えた活動の推進

久留米市美術館開館を契機として始めたミュージアム化事業を推進し、市民の美術館として世代を超えて親しみを持っていただけるよう取り組む。

①エリア内各施設と展覧会との連携事業

- ・庭園や石橋文化ホール、石橋正二郎記念館で行う事業との連携
 - ※ミュージアムコンサート（石橋文化ホール）など
- ・楽水亭での展覧会コラボメニューやグッズ販売の実施
- ・図書館での展覧会割引しおり配布や展覧会特設コーナー設置での連携

②未来へつなぐ創造事業

アーティストや学生、子どもたちと一緒に石橋文化センター全域を創作活動の場として創り上げる「アートフェスティバル」を実施する。

③開館記念日等の無料入館の取り組み

久留米市美術館開館記念日等の無料入館日に園内やホールで事業を実施することにより、多くの方が気軽に美術に触れる機会を増やしていく。

(4) 市民と共に創り育てる仕組みづくり

①友の会会員の増加

美術館主催展覧会の年間フリーパスを主な特典とした「ミュージアム会員」を中心にメンバーシップ「みゅ〜ず」の増加を図り、ファン層拡大に努める。

②協賛制度の取り組み

企業、団体、学校からの支援を募り事業拡大を図るとともに、企業内研修や学生の美術鑑賞の場として久留米市美術館、石橋正二郎記念館の利用を推進する。

(5) 久留米市美術館のセキュリティー対策

展示品の搬入出時におけるセキュリティー強化と風雨対策を講じるため、新たな搬入口の設置について、久留米市と協働して研究、検討を行う。

2. 石橋正二郎記念館の積極的な活用

- ・小中学生の美術館来館時の石橋正二郎記念館の活用
- ・「びじゅつかん手帖」の新規制作
記念館と美術館本館の展示をあわせて楽しめるシートを新たに制作する。
- ・企業、団体に向けた研修利用推進
- ・記念館コンサートの開催や園内イベントでの誘客
- ・石橋正二郎記念館とゆかりの施設見学をセットにした親子ツアーの開催

3. 石橋文化センター全体の安全対策

(1) 自然災害に備えた浸水対策等

昨年度、石橋文化センター内の施設でも豪雨による浸水等の被害が発生した。今年度は久留米市の施工により、隣接する河川からの浸水を防ぐ防護壁や美術館への止水板の設置などの対策を講じる。

(2) 感染症対策

新型コロナウイルス感染拡大に対して安全を確保するために、美術館、ホール等の適切な管理運営に努める。

4. 石橋文化センターブランディングの推進

ブランディングの理念である「楽しみと幸福の時間。」を組織全体で推進していくことにより、石橋文化センターのブランドイメージを高める。

①園内の魅力発信によるブランディングの推進

バラフェアなどの四季折々の魅力ある園内事業を「ななつの花めぐり」としてPRする。バラ園の新品種導入や紅葉や桜などの追加植栽による充実により、園内の魅力を高めていく。

②ミュージアム化事業によるブランディングの推進

展覧会と園内やホールでの連携事業による様々な魅力を提供していく。

③C Iマニュアル遵守によるブランディングの推進

シンボルマークなどマニュアルに沿った正しい使用と拡大に努める。

5. 広報・情報発信の強化

組織を横断した「事業・広報連携プロジェクト」において、展覧会を中心に園内やホール事業との連携を図り、効果的な事業実施と広報を展開していく。

①マスコミへの情報発信

展覧会における記者レクチャーでは、園内やホールとの連携事業についてもPRし、石橋文化センター全体の事業への関心を高めていく。

②他団体等との連携

くるめぐる 5 施設協議会による近隣施設との連携を図り、スタンプラリーや連携事業により効果的な事業実施を行う。

また、西鉄の旅列車「THE RAIL KITCHEN CHIKUGO」の運行に合わせて、西鉄福岡(天神)駅と花畑駅ホームに石橋文化センターPR コーナーを設置する。

③石橋文化センター情報サテライトの効果的運営

久留米シティプラザ内の石橋文化センター情報サテライトにて、展覧会や各種イベント情報を積極的に発信することにより、広く周知を図る。

6. 指定管理施設への対応

以下の指定管理施設に対する申請を行うとともに、指定管理者として管理運営を行う。

①久留米市美術館

次期指定管理期間 2021 年度～2025 年度(予定)5 か年計画書を作成し、申請を行う。

②久留米市野中生涯学習センター及び久留米市民交流センター

久留米市野中生涯学習センター（2020 年度～2024 年度）及び久留米市民交流センターは（2019 年度～2023 年度）の指定管理者として適切に管理運営を行う。

7. 組織体制の強化

課長級による運営会議（月 2 回開催）やプロジェクト会議等を通じ、事業進捗などの情報共有を図るとともに、一体的な組織運営を推進する。

また、長期的視点や将来に向けた展望を明らかにするための計画を立案する。全職員が参画し、ビジョンを共有することで組織力を高めることを目的とし、財団としての基本計画（2021 年度～2025 年度）策定に取り組む。

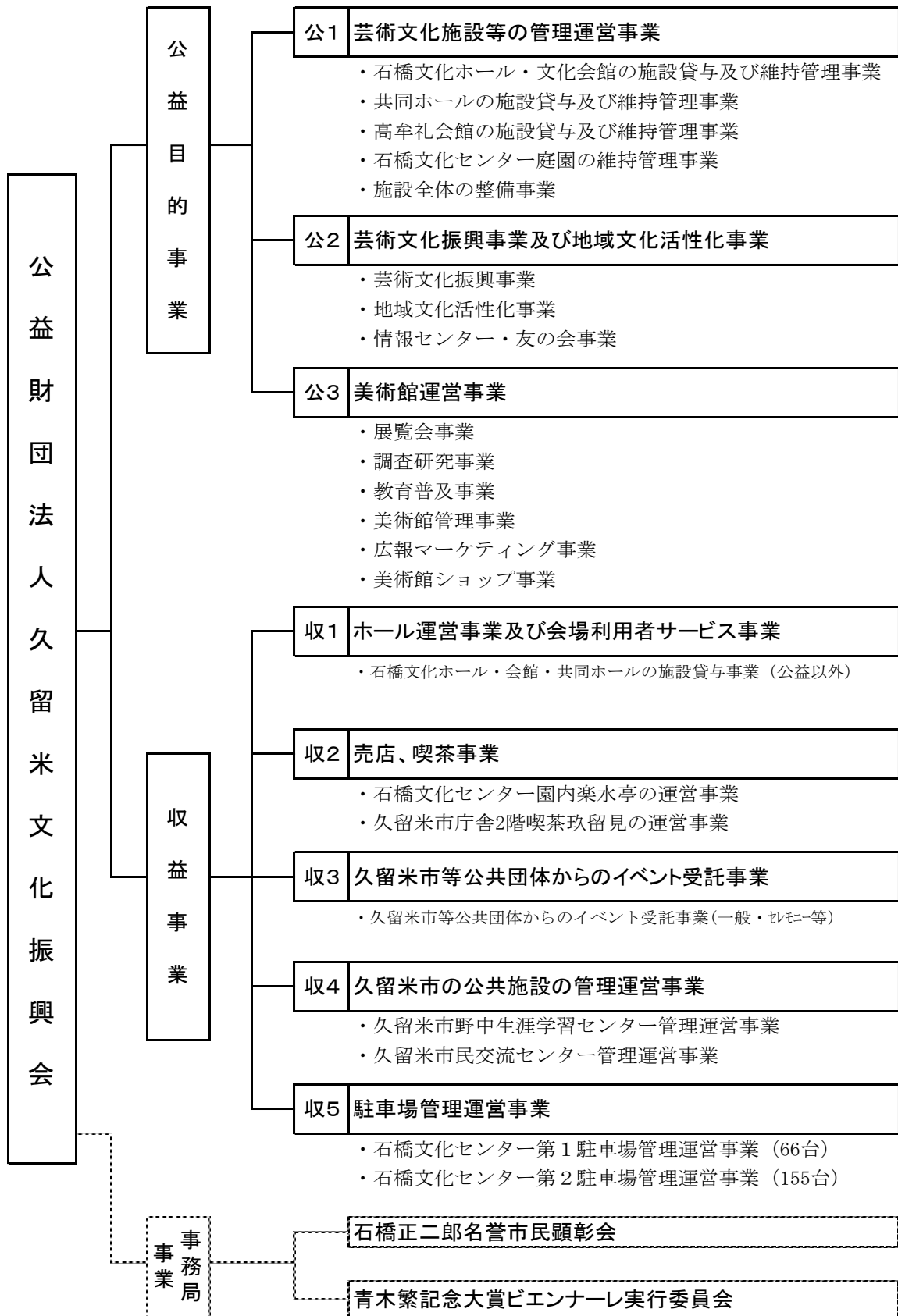
8. その他の取組み

・協賛制度、寄付制度

より魅力ある事業実施や庭園作り等に資するために、企業、団体、個人から広く支援を募っていく。

Ⅲ. 事業内容

【公益財団法人久留米文化振興会事業体系】



【公益目的事業】

1. 芸術文化施設の管理運営事業

石橋文化センター諸施設並びに高牟礼会館の維持管理及び施設貸与事業を行うことにより、芸術文化の振興と地域文化の活性化に取り組む。

また、ホールの新規利用者獲得への取り組みと来場者に向けた久留米市美術館利用促進を図る。

(1) 施設の貸与事業

直接窓口で利用者の声を伺うことで、市民のニーズを的確に把握し、公平性、透明性を確保しながら、利用者の創造性が十分に発揮できるように柔軟性をもった施設運営を行う。

①石橋文化ホール・文化会館・共同ホール

安心、安全を基本とし、それぞれのホールの特性を熟知した専門性を有するホールマネージャーを配置することで、利用者の立場に寄り添ったサービス提供を行う。

特に、共同ホールは老朽化対策として長寿命化のための点検をしっかりと行いながら、市民の利用に供していく。

また、新規利用者獲得への取り組みとして「ホール利活用講座」などの事業を継続して行うことで、幼稚園、保育園や小中高校への利用促進を図る。

②高牟礼会館

伝統ある高牟礼会館では、老朽化に伴う修繕など、迅速かつ細やかに対応し、安心、安全を確保する。また、高牟礼会館を拠点に活動するサークル団体の利用時間の調整など、積極的なサポートを行う。

(2) 施設の維持管理

①庭 園

「園内整備計画実施プラン」に沿って美術館前バラ園の植替えなど整備計画を実施していく。また、今年度も引き続き紅葉や桜などの追加植栽による園内の魅力づくりに取り組んでいく。

②施設整備事業

各施設の利用、安全面を維持向上するための整備を行う。

2. 芸術文化振興事業及び地域文化活性化事業

ホールや園内で行う文化事業と美術館事業を連携し、石橋文化センターをひとつのミュージアムと捉え事業を展開し、相乗効果を生み出していく。

(1) 芸術文化振興事業

ホールでの鑑賞事業や市民の発表の機会を提供する事業に加え、美術館と連携した事業に取り組む。

A. 国内外の優れた芸術・舞台公演の鑑賞機会を提供する事業

- ・ドラゴンクエストコンサート
すげやまこういちと九州交響楽団（オーケストラ）
- ・宝くじまちの音楽会「岩崎宏美 with 宗次郎～心のふるさとを求めて～」

B. 市民参加の文化振興事業

- ・第 31 回くるめ新人演奏会（新人音楽家によるコンサート）
- ・第 32 回くるめ音楽祭（吹奏楽祭・合唱祭・アンサンブルフェスティバル）
- ・第 49 回ニューイヤール・バンド・フェスティバル（吹奏楽合同バンド）

C. 石橋文化センターミュージアム化事業

- ・ミュージアムコンサート「展覧会シリーズ」
- ・久留米市美術館開館記念 ミュージアムコンサート
「石田泰尚ヴァイオリンリサイタル」
- ・石橋文化センターアートフェスティバル
- ・クリスマス、バレンタイン等の季節に合わせたミュージアムイベント
- ・ガーデンテラスコンサート

D. 次代を担う世代とともに行う振興事業～未来への種をまく事業～

- ・石橋文化センターこどもスケッチ大会
- ・古典芸能、音楽等の体験を行う学校への芸術家等派遣事業（受託事業）

(2) 地域文化活性化事業

A. 石橋文化センター園内の花や美術館を活用した市民参加の事業

バラやつばきなど四季折々の魅力をテーマとした「ななつの花めぐり」を中心に開催する。

- 〔ななつの花めぐり〕・春のバラフェア
 - ・あじさい・はなしょうぶまつり
 - ・秋のバラフェア
 - ・もみじまつり
 - ・春の花まつり「梅まつり」
 - ・春の花まつり「つばきまつり」
 - ・春の花まつり「SAKURAまつり」

B. 久留米市内の各地域でコンサート等を実施する市民参加の事業（受託）

市民に音楽に触れる機会や環境を提供するため、市内各所でコンサート等を実施するとともに、若手の人材育成を図る。

- ・第 8 回くるめ街かど音楽祭
- ・第 7 回くるめライブチャレンジ

(3) 情報センター・友の会事業

A. 情報誌の発行・ホームページの運営

情報誌「みどりのリズム」を毎月発行する。

ホームページに加え、フェイスブックを活用した情報発信を行う。

B. 友の会事業

美術館主催展覧会の年間フリーパスを主な特典とした「ミュージアム会員」を中心に友の会会員の増加を図る。

C. 情報センター事業

石橋文化会館1階に加え、久留米シティプラザ内の「石橋文化センター情報サテライト」において、石橋文化センター、久留米市美術館の最新情報を中心に文化情報を発信していく。

3. 美術館運営事業

久留米市の「新たな美術館の基本方針」に基づき、市民に親しまれる美術館を目指し、久留米市美術館と石橋正二郎記念館の指定管理者として管理運営を行う。

(1) 展覧会事業

〔2階〕①久留米市美術館のコレクション in 絵かきになりたい！

4月4日(土)～5月31日(日)

②白馬のゆくえ 小林萬吾と日本洋画50年

6月20日(土)～8月23日(日)

③没後35年 鴨居玲展

9月12日(土)～12月6日(日)

④生誕130年記念 高島野十郎展

1月20日(水)～3月28日(日)

〔1階〕ルート・ブリュック 蝶の軌跡

7月18日(土)～9月6日(日)

(2) 石橋正二郎記念館の運営

生涯を通じて、故郷である久留米市の発展に尽力した石橋正二郎の歩みやひととなりを様々な資料と石橋財団コレクション絵画展示により紹介するとともに、郷里の発展と文化振興を願い建設した石橋文化センターの芸術文化の拠点としての変遷を紹介する。

また、新たに正二郎氏の事績を学ぶシート「びじゅつかん手帖」を制作し、記念館の活用につなげる。

① 正二郎と藤島武二

4月4日(土)～9月6日(日)

② 正二郎と青木繁

9月12日(土)～12月27日(日)

③ 正二郎と松田諦晶

1月20日(水)～3月28日(日)

(3) 調査研究事業

・ 作品収集、保存・修復のための調査研究

・ 作家・作品及び展覧会企画のための調査研究

- (4) 教育普及事業
 - ・ 展覧会に関する美術講座や体験講座の開催
 - ・ 小中学生の美術館鑑賞受入れ
 - ・ 博物館実習の受入れ
 - ・ 展覧会や石橋正二郎記念館鑑賞の補助教材の制作
 - ・ 坂本繁二郎旧アトリエでのアトリエトーク
 - ・ 美術館ボランティア事業

- (5) 美術館管理事業
 - ・ 作品鑑賞にふさわしい空間のための建物、空調設備などの維持管理
 - ・ ギャラリー貸与事業

- (6) 広報マーケティング事業
 - ・ 美術館及び美術館活動に関する情報発信

- (7) 美術館ショップ事業
 - ・ 所蔵品や展覧会の図録、関連書籍、こども向け画材などの販売
 - ・ 絵はがきや作品を配したオリジナル商品の販売

4. 協賛制度

協賛制度は、久留米市美術館開館を契機とする「石橋文化センターをひとつのミュージアムと捉えた活動」などの久留米市美術館と石橋文化センター事業等の支援と入園・入館者数の拡大を目的とした制度であり、今年度もより多くの企業、団体、個人の皆様に加入していただけるようPRに努める。

【収益事業】

1. ホール運営事業及び会場利用者サービス事業

会場利用に際し、ホールマネージャーが付随するサービス（看板や追加備品、装飾など）について積極的に提案し、利用者の負担軽減と包括的なサービス提供による利便性向上に努める。

2. 売店・喫茶事業

公共施設の中にある店舗であることを念頭に置き、市民が利用しやすいメニュー構成や価格設定、魅力的な地域食材の活用に取り組む。

(1) カフェ・ギャラリーショップ「楽水亭」(園内)

久留米市美術館の展覧会にちなんだカフェメニューや商品に加え、地場産品を取りそろえ販売促進を行う。

(2) 喫茶「玖留見」(市庁舎2階)

魅力的な月替わりメニューを提供するなどリピーターを確保し、収益の安定化に努める。

3. 久留米市等公共団体からのイベント受託事業（一般事業受託）

久留米市が主催する記念式典や開通式、表彰式など、当財団の事業ノウハウを活用し、公共イベントの円滑な運営に寄与する。

4. 久留米市の公共施設の管理運営事業

(1) 久留米市野中生涯学習センター

2020年度から新たに5年間の指定管理者に選定された。適切な管理運営による業務の効率を図りながら、魅力ある自主事業を行い市民サービスの向上を図る。

(2) 久留米市民交流センター(久留米市庁舎2階)

5年間の指定管理期間の2年目である。これまで同様、利用しやすい施設を目指しサービスの向上に努める。

5. 駐車場管理運営事業

石橋文化センターエリア全体の情報及び観光バスを含む駐車場混雑状況を事前に集約し、適切な配置及び周辺施設との連携により、混雑防止対策を講じ、利用者サービス向上を図る。

【事務局事業】

郷土に生まれた先達の功績を顕彰し、全国へ向けて発信するとともに、創作活動を奨励し、芸術文化のさらなる活性化に寄与する。

主に以下の事業の事務局機能を担い、関係団体との調整を十分に図り、効率的な運営と事業促進に努める。

1. 石橋正二郎名誉市民顕彰会

実行委員会では、石橋正二郎名誉市民の理念を広く伝える事業を実施する。

- ・墓前祭の実施
- ・久留米市美術館 講演と展覧会見学の開催
- ・ゆかりの地見学会

2. 青木繁記念大賞ビエンナーレ実行委員会

過去5回にわたって開催した「青木繁記念大賞西日本美術展」を前身とし、前回の第6回展から「青木繁記念大賞ビエンナーレ」へと事業名称を変更した。今年度は次回の開催内容を検討し準備していく。